

平成25年8月23日

奈良県エネルギービジョン推進協議会 資料

奈良市のエネルギー関連事業について



奈良市の環境キャラクター
「ルリくん」

奈良市 エネルギー政策課

平成25年度から環境部内にエネルギー政策課を設置

奈良市が行っている主なエネルギー関連事業

(1) 省エネルギーの推進

① 節電対策(夏季・冬季)

② LED化の推進

商店街LED照明導入補助、街路灯のLED化

(2) 再生可能エネルギーの導入促進

① 家庭用ソーラーパネル設置補助

② 公共施設への太陽光発電システム設置

③ 小水力発電導入支援補助(調査事業)

(3) 公共交通機関のエコ化

① 低公害車タクシー導入補助

② 電気自動車の普及促進



奈良市本庁舎の急速充電設備

LED照明の導入促進

商店街LED照明導入補助

- 地域での環境に配慮した取組を推進し、消費電力及びCO2排出量を削減するため、平成24年度から補助制度を実施
- LED照明の購入費、工事費等に対して2分の1を補助(上限300万円)
- 平成24年度補助実績
 - ・船橋通り商店街協同組合、奈良市下御門商店街協同組合、東向北商店街振興組合
 - ⇒ 3商店街の平均で約67%の電力使用量削減となった。

街路灯のLED化

- 市内の街路灯 約43,000灯
- 平成24年度から試験的にLED照明に交換
 - 平成24年度 予算 1,000万円 ⇒ 222灯の水銀灯をLED化
 - 平成25年度 予算 4,000万円
- 今後は、予算の確保が課題



船橋通り商店街のLED

再生可能エネルギーの導入促進

家庭用ソーラーパネル設置補助制度

■ 平成22年度から補助制度を実施

年度	内容	予算
22	5万円／1kW(上限10万円) 件数:148件	1,500万円
23	5万円／1kW(上限10万円) 件数:250件	2,500万円
24	5万円／件 件数:400件	2,000万円
25	内容未定	2,000万円

■ 課題:平成26年度から国の補助金(J-PEC)が廃止される可能性がある。

奈良市の補助制度は、国補助金の交付を受けた市民に対する事後補助であり、補助制度の仕組みを検討する必要がある。

公共施設への太陽光発電システム設置

■ 行政センター、消防署、学校など12箇所に太陽光発電システムを設置

発電設備容量: 合計 160kW



椿井小学校の太陽光発電パネル

小水力発電導入支援補助制度

■ 平成25年度から小水力発電導入のための調査に対する補助制度を新設

補助率:1/2 限度額:200万円

■ 市内阪原町での小水力発電所設置を、地元やNPOとの協働で推進中

■ 太陽光発電と比べて、河川法、電気事業法などによる許認可や水利権の調整などの手続きが多い

公共交通機関のエコ化

大気汚染防止及び地球温暖化対策のため公共交通機関のエコ化を推進 低公害車タクシー導入補助制度

- 平成22年度から市内のタクシー事業者が低公害車導入に対する補助制度を実施
- 補助金額と実績(H22~24)
電気自動車:50万円(1台) PHV車:30万円(なし) HV車:20万円(9台)



電気自動車の普及促進

- 本庁舎と道の駅針テラスに急速充電設備を設置(H25.3~)
当分の間、無料で供用中であるが、課金システムの普及が今後の課題
- 民間事業者の充電器設置補助
 - ・平成24年度は市内3ホテルの普通充電設備に補助
 - ・充電設備が普及するには、電気自動車が普及し、設置費用に見合う投資効果が大きくなる必要がある
- 公用車に電気自動車を導入
リーフ 1台、アイミーブ 2台、コムス 1台

急速充電設備利用状況(H25.4月~7月実績)

